



美幌町

## 概要

美幌町は、農業を基幹産業とした田園都市であり、市街地では、通学・通院・買物等のための移動手段として民間循環バスの運行がされているが、運行区域の拡大及び利用者の増加による採算性の改善が求められている。また、郊外部では、町営バス、スクールバス、福祉バスが運行されているが公共交通空白地域や重複路線もあり、効率的かつ利用のしやすい公共交通の確保が必要となっている。このため、スクールバスの活用、乗合タクシーの導入、循環バス路線の改善や公共交通教室の開催等により、公共交通空白地域を解消し、公共施設や中心商業地へのアクセスを向上させ、持続可能な公共交通の推進を図る。

### スクールバスの活用(21年度～)

・郊外部の公共交通確保を目的として、通学に支障のない範囲で一般住民の混乗が可能なスクールバスの運行を21年度は1か月間・5路線において、デマンド方式を含めた実証実験を行う。

### 乗合タクシーの導入(22年度～)

・21年度に行う上記スクールバスによるデマンド型輸送の実証実験結果をもとに、他の手段の有効性を検証するため、22、23年度に、スクールバスの下校便の一部を乗合タクシーへ切り替え、一般住民の利用が可能な形態による実証実験を行う。

### 循環バス路線の改善(21年度～)

・市街地全体をカバーするとともにより効率的なバス路線を設定するため、21年度に、主要施設が分布する北西から南東のラインで区分される北東エリア、南西エリアそれぞれにバス路線を設定し、それぞれ左右回りによる実証実験を行う。

### 公共交通教室の開催(21～23年度)

・公共交通の利用促進を図るため、地域住民を対象に、町内公共交通路線網、効率的な乗降方法について説明を行う公共交通教室を実施する。



## 美幌町地域公共交通活性化協議会 計画事業の取組状況

### 主な事業内容

- バス実証運行
- ・阿寒バス古梅線の活用
- ・レクリエーション線の実証運行
- ・市内循環線の実証運行
- 利便性向上と利用促進
- ・公共交通パンフの作成
- ・公共交通教室の実施

協議会開催状況

2回開催

分科会等開催状況

5回開催

回数は、平成21年度末までの開催予定

- 調査・研究等
- ・OD・アンケート調査の実施

### 実施状況

- バス実証運行
- ・阿寒バス古梅線の活用し、運行ダイヤを見直した実証運行
- ・峠の湯への公共交通の確保
- ・レクリエーション線の実証運行
- ・各種レクリエーション施設利用者利便向上
- ・市内循環線の実証運行
- ・市内循環2系統の運行
- ・運行期間：10月1日～10月31日
- 利便性向上と利用促進
- ・経路・運行時刻・料金等わかりやすく記載した公共交通パンフ10,000部の作成
- ・老人クラブ・地域自治会等において公共交通教室の実施

- 調査・研究等
- ・各種実証事件等のOD・アンケート調査の実施

### 自己評価のポイント

- ・実証運行は、自家用車等を持たない町民の唯一の足であり、意見や問い合わせが多数有り、今後の高齢社会に対応し多くの方に利用される運行形態の実現が求められており、必要な事業である。
- ・レクリエーション線は夏期運行について利用者が極めて少なかったため翌年度事業の実施にあたって運行方法等の検討をしなければならない。

### 二次評価のポイント

自己評価のとおり、持続性を考慮し、地域に適した交通体系を構築するよう期待する。